

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	地域ため池総合整備事業に伴う事前調査業務			基本計画	章	産業振興
事業コード					節	農林業
課係名	農政課基盤整備係	内線			項	生産基盤の整備
担当者氏名		職名			細項目	水資源の確保

事業概要	浸水被害の軽減対策の一つである雨水流出抑制のため、ため池等の農業用施設を活用しながら治水対策を実施している。しかしながら、堤体及び排水施設等の老朽化が進み、保水機能が低下しているため、堤体決壊等の被害を未然に防止し、本市の水害対策を図る。
------	---

現在の課題や市民要望など	大規模なため池施設の改良又は補修には、公共事業で整備する旨、後期基本計画で定めている。ため池施設等を活用して治水対策を実施するにあたり、引き続き地元水利組合や農家組合の協力が必要であるが、ため池等の水位調整管理をお願いする中で、老朽化した農業用施設等についての改修要望が多い。
--------------	--

事業目的	① ため池施設等について、計画的、総合的な整備を図る。 ② ため池の堤体及び排水施設等の改修を行う事で、より一層の浸水被害軽減を図る。 ③ ④
------	--

個別取組	① 予備調査業務 ③	② ④
------	---------------	--------

事業による改善・変更点	① ため池施設等の改修を行う事により、河川等への雨水流出抑制が図れる。 ③	② ため池施設等について、単発で修繕を行っているが、計画的、総合的な整備を図ることができる。 ④
-------------	--	---

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体(民間) <input checked="" type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	
内容	① 市内のため池施設等 ③	② ④

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()
内容	① 事業化に向けた予備調査 ② 調査計画事業・総合整備事業

支出根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称	① 農山漁村地域整備交付金交付要綱 ③	② ④
------	--	---------	------------------------	--------

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		内容	事業期間中における負担金の支出

事業費の積算	27年度	地域ため池総合整備事業に伴う事前調査業務委託 9,000千円	事業費	9,000	事務スケジュール	年月	内容	
	28年度	県の計画審査会(1次・2次)【県にて行う】	国			27.8	調査業務委託発注	
			市			28.10	県:計画審査会(一次)	
			その他	9,000		29.2	県:計画審査会(二次)	
	29年度	関東農政局とヒアリング【県にて行う】	一般財源			29	関東農政局ヒアリング	
			事業費			30	調査計画事業(ソフト事業)	
			国			31	総合整備事業(ハード事業)	
				市				
				その他				
				一般財源				
				事業費				
				国				
			市					
			その他					
			一般財源					

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果	金額	千円	内容
--------	--	------	----	----	----

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			27年度	28年度	29年度
	■ 活動指標	①	調査箇所			
		②				
	■ 成果指標	①	流出抑制量	約29万t	約29万t	約29万t
②						

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	大規模なため池施設の改良又は補修については市が実施主体となる旨、後期基本計画に定めている。 平成25年の台風26号以降、ため池等の農業用施設を活用して河川等への雨水流出抑制を図り、治水安全度の向上に取り組んでいる。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	ため池の堤体及び排水施設等の改修を行う事で、河川の流下能力向上の取組みと合わせ、雨水流出抑制を図り、市内の浸水対策を図ることができる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	県の「地域ため池総合整備事業」を活用し、計画的、総合的整備を行うことで、現在の単発的な修繕よりも効率的かつ、国の補助を利用した整備が図れる見込みがあり、本事業はそれに向けた事前調査である。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	既に老朽化している農業用施設等も多く、治水安全度を向上させるためにも、早急に実施する必要がある。 また、水位調節の回数が増えたことにより、老朽化が進んでいることが考えられ、早急な調査が必要である。
	5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	ため池等の水位調整管理をお願いする中、老朽化した農業用施設等について、地元水利組合から多くの改修要望が上がっている。
	6. 同規模他市・周辺市町村の状況		
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	C	A. ほとんどの自治体で実施 B. 同規模以上の自治体は実施 C. ほとんど実施していない	ため池等の水位調整管理については、一宮川上流域の2町について実施。県事業の「地域ため池総合整備事業」については、県内実績なし。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	実施計画に「ため池等整備事業」が位置づけられていること、また、本市の治水対策の状況に鑑み、事業の必要性は認められるが、後年度の負担が多額になると予想されることから、次期3か年実施計画において、計画的に実施することを検討すべきである。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	ため池の整備及び治水対策は喫緊の課題であることから、特定財源を用いて事前調査を実施する。但し、「地域ため池総合整備事業」の実施については、調査終了後に必要な事業費や、市の負担割合等が明らかになった後、再度庁議に付すものとする。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	水害対策の中でため池が果たす役割の大きさに鑑み、本件事前調査を実施するものとする。但し、「地域ため池総合整備事業」の実施については、再度庁議に付すものとする。	